ISSN 1881 － 980X

一般社団法人日本科学教育学会
Japan Society for Science Education
発　行：隅田　学
事務局：中西印刷株式会社　学会部内
URL：*http://www.jsse.jp*

2022.12.15
NO.260

科学教育研究レター

JSSE
日本科学教育学会

目　　次

■ **理事会だより** ……2
第 300 回報告
■ **学会賞** ……5
第 46 回年会発表賞の決定
2023（令和 5）年度学会賞候補者の募集
■ **年会** ……7
第 47 回年会開催案内（第 2 次）
■ **支部・研究会だより** ……9
2022 年度研究会開催のお知らせ
研究会開催案内
■ **国際交流委員会だより** ……11
2022 年度第 1 回日本科学教育学会研究会（国際交流委員会開催）開催報告
国際学会開催情報
■ **若手活性化委員会だより** ……13
2022 年度 日本科学教育学会研究会（若手活性化委員会開催）　概要報告
■ **編集委員会だより** ……15
2022 年度第 1 回編集理事会報告
「科学教育研究」編集状況報告
「科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況
■ **広報委員会からのお知らせ** ……17

日本科学教育学会第 300 回理事会報告（案）

（議事要録承認前．要点のみ参考掲載）

日　時　　2022 年 11 月 26 日(土) 14:00~17:00
会　場　　株式会社内田洋行 新川第２オフィス及びネット会議の併用
出席者　　会長 隅田　学，副会長 清水美憲，竹中真希子
理　事　　加藤久恵，松原憲治，寺田光宏，松浦拓也，加納圭，山口悦司，三宅志穂，辻　宏子，
　　雲財　寛，稲田結美，秋田美代，山下修一，瀬戸崎典夫，舟橋友香
監　事　　稲垣成哲
幹　事　　山本容子，塩澤友樹

１．議事要録(案)の承認
○第 298 回・299 回理事会議事録(案)を承認した．

２．第 300 回理事会までの電子会議による審議事項と審議結果
○事務局からの発議により，22/9/30 までに入会を希望した 4 名と正会員からシニア会員への変更を希望した 1 名を電子会議により審査した結果，全員の入会及び会員種別の変更が承認された (2022 年 10 月 6 日).
○事務局からの発議により，22/10/31 までに入会を希望した 10 名を電子会議により審査した結果，全員の入会及び会員種別の変更が承認された (2022 年 11 月 4 日).

３．報告事項
1) 庶務・事務局
○事務局より文書受理（刊行物送付を含む）や諸対応について報告があった．
○理事会手帳の修正及び各会務の年間スケジュールについて報告があった．

2) 経理・会員
○住所不明者について報告があった．

3) 機関誌編集
○機関紙編集状況及び特集号について報告があった．

4) 学会賞
○年会発表賞候補の推薦にかかわる投票の集計結果について報告があった．

5) 支部・研究会

○2022 年度の支部研究会の開催状況について報告があった.

6) 調査研究・学術交流・男女共同参画ワーキング

○「第 2 回研究者のワークライフバランスを考えるイベント」の開催状況について報告があった.

7）国際交流

○第 46 回年会における国際ランチョン・ミーティングの開催状況について報告があった.

○2022 年度第 1 回研究会（国際交流委員会開催 英語による研究会）の開催状況について報告があった.

8) 年会企画

○第 47 回年会（愛媛大会）の準備状況について報告があった.

○第 46 回年会（愛知大会）の会計について報告があった.

9) 広報・学会 IT 化

○『科学教育研究レター』の発行状況及び発行日程について報告があった.

○科学教育メールマガジンの発行について報告があった.

○学会 Web サイトの更新について報告があった.

10) 若手活性化

○第 46 回年会における若手活性化委員会企画の実施状況について報告があった.

○2022 年度第 4 回研究会（若手活性化委員会開催）の準備状況について報告があった.

４．協議事項

1) 経理・会員

○退会希望者 33 名の説明があり承認された.

現在会員数：1,382 名（正会員 1,185 名，学生会員 125 名，名誉会員 21 名， 公共会員 1 名，賛助会員 3 名,シニア会員 47 名）（2022 年 11 月 9 日付）

（前回会員数：1,395 名（正会員 1,190 名，学生会員 138 名，名誉会員 19 名， 公共会員 1 名，賛助会員 3 名,シニア会員 44 名）（2022 年 9 月 5 日付）

2) 学会賞

○第 46 回年会発表賞候補の中から，以下の 4 件の論文を承認した.

・「日本の科学教育における Indigenous knowledge とアイヌ文化」奥山英登（国立アイヌ民族博物館）

・「数学的問題設定における証明の活用に着目した中学校数学科授業の設計と実践－「図形の合同」における授業の概要－」加藤幸太（千葉大学教育学部附属中学校），辻山洋介（千葉大学），柴田義之（南風原町立南星中学校）

・「文系・理系の自己認識の形成時期に関する一考察」中村大輝（広島大学），松浦拓也（広島大学）

・「教師による数学の授業レキシコンの解釈に関する国際比較－日韓の数学教師へのインタビ ュー調

査を通してー」平林真伊（山形大学），康孝民（筑波大学人間総合科学学術院院生）

3）国際交流

〇学会事業における「<3>国際交流の推進」の記述の一部修正について説明があり承認された.

〇ICASE への本学会会員の派遣について説明があり，派遣のための予算案が承認された.

4) 男女共同参画ワーキングメンバーについて

〇男女共同参画ワーキングメンバーについて説明があり承認された.

5) その他

〇50 周年に向けての準備企画ワーキンググループの設置について説明があり承認された.

〇定款等について意見交換がなされた.

５．次回以降の理事会予定

・第 301 回:2023 年 3 月 18 日(土) 14:00～17:00 場所: ネット会議

・第 302 回:2023 年 6 月 17 日(土) 14:00～17:00 場所:株式会社内田洋行 新川第２オフィス

・第 303 回:2023 年 9 月 18 日(月･祝) 時間未定　場所: 愛媛大学

・第 304 回:2023 年 11 月 18 日(土) 14:00～17:00 場所: ネット会議

・第 305 回:2024 年 3 月 16 日(土) 14:00～17:00 場所: ネット会議

第 46 回　年会発表賞の決定

学会賞選考委員会では，第 46 回年会発表賞について，会員からの推薦にもとづいて慎重に審議を重ね，候補者の選考を進めてまいりました．2022（令和 4）年 11 月 26 日に開催された第 300 回理事会の議を経て，下記 4 件が 2023（令和 5）年度年会発表賞に選ばれました．誠におめでとうございます．「＊」は現在非会員の方ですが，2023（令和 5）年 2 月末までに入会された場合は受賞対象となります．

発表者：平林真伊（山形大学）・康孝民（筑波大学人間総合科学学術院）
発表論文:教師による数学の授業レキシコンの解釈に関する国際比較－日韓の数学教師へのインタビュー調査を通して－，第 46 回年会論文集，pp.157-160，2022.
選定理由：本研究では，授業レキシコンの解釈における比較研究的な特徴を日本と韓国の数学教師へのインタビューに基づく丁寧な分析に基づいて明らかにしている．数学だけでなく他教科にも概念が応用できる可能性が期待できる．

発表者：加藤幸太（千葉大学教育学部附属中学校）・辻山洋介（千葉大学）・柴田義之＊（南風原町立南星中学校）
発表論文：数学的問題設定における証明の活用に着目した中学校数学科授業の設計と実践～「図形の合同」における授業の概要～，第 46 回年会論文集，pp.270-273，2022.
選定理由:本研究では,生徒一人ひとりの思考に最適な学びを設計しようとするモデル的な授業であり，他の内容にも応用可能であると考えられる．発表において授業者としての考えや立場，実践上の具体的な工夫をわかりやすく解説していた点も評価できる．

発表者：中村大輝（広島大学）・松浦拓也（広島大学）
発表論文：文系・理系の自己認識の形成時期に関する一考察，第 46 回年会論文集，pp.564-567，2022.
選定理由：理系と文系の自己認識の形成時期に着目して，既存のデータを機械学習の活用により予測しようとする方法が新しい提案である．本学会員にとっても非常に関心の高いテーマに取り組んでいる．

発表者：奥山英登（国立アイヌ民族博物館）
発表論文：日本の科学教育における Indigenous knowledge とアイヌ文化，第 46 回年会論文集，pp.342-343，2022.
選定理由：本研究は，これまで日本の科学教育研究の枠組みにおいて取り組まれていなかったアイヌ民族の土着知識に着目し，理論的・実践的に解明しようとする意欲的な研究である．今後，多様な科学教育研究の発展にむけて新しい視座を与える可能性が期待できる．

公示

2023（令和 5）年度学会賞候補者の募集

一般社団法人日本科学教育学会　大塚賞，同学術賞，同国際貢献賞，同論文賞，同科学教育実践賞，同功労賞，及び同奨励賞の候補者を下記により募集します．会員の皆様からの多数の推薦をお願い申し上げます．

1．推薦期限

2023 年（令和 5 年）5 月 15 日（月）（必着）

2．推薦資格

(1) 推薦者は会員とする．

(2) 会員は，各賞について，それぞれ 1 件のみ推薦できる．

(3) 各賞の推薦は他薦のみとする．

(4) 推薦者は，推薦書の様式を学会ホームページ（「各書式」からダウンロード可）で，入手の上，その様式にしたがって作成した推薦書を学会事務局に提出する．

3．受賞資格

一般社団法人日本科学教育学会　学会賞表彰規程（https://jsse.jp/regulation/26-2 ）を参照する．

4．受賞件数

各賞の受賞件数は特に定めない．

5．選考

会員からの推薦に基づいて，学会賞選考委員会が候補者を選定し，理事会が決定する．

6．賞

(1) 本賞は賞状とする．

(2) 賞の贈呈は，2023 年度代議員総会において行う．

7．備考

論文賞の対象は，『科学教育研究』Vol.44，No.2 以降に掲載の論文とする．

奨励賞の対象は，『科学教育研究』Vol.45，No.2 以降，『研究報告』Vol.35，No.6 以降及び第 45 回・第 46 回年会論文集に掲載の論文等とする．

第 47 回年会 開催案内（第 2 次）

年会企画委員会・年会実行委員会

1．日程：2023 年 9 月 18 日（月・祝）～20 日（水）（3 日間を予定）

2．会場：愛媛大学城北キャンパス
（〒790-8577　愛媛県松山市文京町 3 番）
https://www.ehime-u.ac.jp/about/access/
※懇親会（19 日（火）夕方）は実施の方向で検討中です.

3．スケジュール概要（予定）
18 日（月）　午前：研究発表
午後：研究発表
19 日（火）　午前：研究発表 招待講演（科学教育研究セミナー）
午後：代議員総会・表彰 シンポジウム・懇親会
20 日（水）　午前：研究発表
午後：研究発表（申し込み状況により設定）
＊その他，各委員会による企画，理事会，顧問・理事・支部長・代議員合同会議，各委員会の会合等があります.

4．発表申込等について
研究発表（課題研究発表, 一般研究発表, インタラクティブセッション）の申込･原稿提出のスケジュールは，次号『科学教育研究レター』等でお知らせします.

5．連絡先：日本科学教育学会第 47 回年会実行委員会
E-mail：jsseehime47 [at mark] ed.ehime-u.ac.jp

6．第 47 回年会実行委員会
委 員 長　向　平和（愛媛大学）
副委員長　吉村直道（愛媛大学）
委　　員　赤松　直（高知大学），秋田美代（鳴門教育大学），安部利之（愛媛大学），
大西義浩（愛媛大学），大橋淳史（愛媛大学），河村泰之（愛媛大学），
観音幸雄（愛媛大学），佐伯昭彦（鳴門教育大学），佐野　栄（愛媛大学），
玉井輝之（愛媛大学），中城　満（高知大学），中村依子（愛媛大学），
中本　剛（愛媛大学），林　敏浩（香川大学），早藤幸隆（鳴門教育大学），
原本博史（愛媛大学），細田宏樹（愛媛大学），森　慎之助（愛媛大学），
笠　潤平（香川大学）

7．年会企画委員会

委 員 長　山本智一（兵庫教育大学）

副委員長　川上　貴（宇都宮大学），服部裕一郎（岡山大学）

幹　　事　神山真一（大阪体育大学）

担当理事　瀬戸崎典夫（長崎大学），大谷忠（東京学芸大学）

委　　員　石橋一昴（岡山大学），江草遼平（千葉商科大学），
小野寺かれん（京都光華女子大学），川崎弘作（岡山大学），
木村優里（明治学院大学），小泉健輔（群馬大学），
高井吾朗（愛知教育大学），中原久志（大分大学），
畠山　久（東京工業大学），福田博人（岡山理科大学），
増田有紀（東京成徳大学），向　平和（愛媛大学），
山中真悟（福山市立大学），山本輝太郎（金沢星稜大学）

支部・研究会だより

2022 年度研究会開催のお知らせ

今後の開催計画

開催支部/委員会	開催日	発表申込み締切日	会場
国際交流委員会	終了しました	--	--
東北支部	終了しました	--	--
北海道支部	終了しました	--	--
若手活性化委員会	終了しました	--	--
九州沖縄支部	2023 年 2 月 23 日（木・祝）	2023 年 1 月 14 日（土）	コンパルホール
東海支部	2023 年 6 月（予定）	--	--

研究会に関する最新情報は学会 Web ページに掲載しますので，ご確認ください．
※右の QR コードより，学会 Web ページ（研究会案内）にアクセスできます．
https://jsse.jp/1-3

研究会　開催案内

2022 年度　第５回日本科学教育学会研究会（九州沖縄支部）

［テーマ］未来をデザインする科学教育
［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会
［日　時］2023 年 2 月 23 日（木・祝）　10：00～16：30（予定）
［会　場］コンパルホール（対面開催）
〒870-0021 大分県大分市府内町 1 丁目 5 番 38 号
※今後の新型コロナウイルスの感染状況によってはオンライン開催になる可能性があります．
［対　象］会員，教員，学生，社会人
［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．
参加費は無料です．
［申込先］下記のフォームから発表・参加の申し込みをお願いします．
発表・参加申込 URL：https://forms.gle/z4oZn6tXNSWwZ2tz6
発表申込締切は 2023 年 1 月 14 日（土）です．
参加申込締切：2023 年 2 月 20 日（月）です．ただし，発表されない場合は，当日参加も可能です．
発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．発表申込時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします．また，１つの研究会で第 1 著者として申し込みできるのは，１件です．
ご不明な点につきましては，以下の問い合わせ先までご連絡ください．
＜問い合わせ＞2022 年度第 5 回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：中原　久志

〒870-1192　大分県大分市旦野原 700 番地　大分大学大学　教育学部

nakaharah（atmark）oita-u.ac.jp（中原　久志）

［原稿提出］研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください.

〈 URL： https://jsse.jp/1-3/115-2 〉

研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください.

〈 URL： https://jsse.jp/1-3/125-2 〉

原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，2023 年 2 月 3 日（金）です.

次のウェブサイトから投稿してください.

〈 URL：https://jsse-kenkyukai-form.jp/ 〉

※研究会情報のプルダウンメニューで「九州沖縄支部」を選んでください.

投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます. このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．アドレスの（atmark）の部分は＠です.

原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります.

また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください.

会場のプロジェクター接続端子は HDMI です．変換コネクタ等は各自でご準備ください.

多数の方々の申込をお待ちしております.

日本科学教育学会　九州沖縄支部長　牧野　治敏（大分大学）

2022 年度第 1 回日本科学教育学会研究会（国際交流委員会開催）開催報告

2022 年度第 1 回研究会（国際交流委員会開催　英語による研究会）を 11 月 5 日（土）にオンライン（Zoom）で開催しました．土曜日午前の開催でしたが，35 名の方にご参加いただきました．

昨年の試行実施に引き続き，海外の研究者 2 名によるゲストトークと一般発表で構成しました．ゲストトークでは，The Education University of Hong Kong の May Hung May Cheng 教授と University of New South Wales の Kim Caroline Beswick 教授にご登壇いただきました．Cheng 教授には，近著の“Concepts and Practices of STEM Education in Asia”の内容をもとにご講演いただき，アジアにおける STEM 教育の概況を掴むことができました．Beswick 教授にはコロナ禍における大規模な国際学会の運営上の課題を通して，今後アカデミアがどのように発展していくべきかという大きな問題に触れる講演をしていただきました．

一般発表では，7 件の英語による発表があり，2 つのブレイクアウトルームに分かれて活発な議論がなされました．若手研究者の英語発表を支援する観点から，英語でのやり取りが難しい部分は座長が適宜日本語で補うなど，和やかに発表が行なわれました．また，多くの留学生にもご参加いただき，国をまたいだ科学教育の課題が議論されました．

アンケート回答では「本日の研究会は有意義でしたか」の問いに対して，「とても有意義だった」が 77%，「有意義だった」が 23%（N＝13）と大変好評でした．その理由として，一般発表・２講演共に大変参考になったこと，コロナ禍の中，英語で研究発表できる機会が国内で得られたことなどが挙げられました．研究会後の情報交換会では，参加いただいた留学生から，学会活動について英語の情報がほしいとの意見が挙げられ，国際交流委員会として今後検討していきたいと考えております．

最後になりましたが，今回の研究会の開催にあたりご協力いただきました支部研究会の理事の皆様，隅田会長，清水副会長，そして発表者・参加者の皆様に感謝申し上げます．

担当：土佐幸子（新潟大学）

国際学会開催情報

2023年

Association for Science Teacher Education (ASTE) 2023 International Conference

開催地：Salt Lake City（ハイブリット開催）

期間：2023年1月11日-1月14日

https://theaste.org/meetings/2023-international-conference/

CIES 2023 Annual Meeting（Comparative and international education societies）

開催地：Washington, D.C.

期間：2023年2月14日-2月22日（2月16日，17日は休会）

https://cies2023.org/

NARST 2023 ANNUAL INTERNATIONAL CONFERENCE

開催地：Hilton Chicago, Chicago, USA

期間：2023年4月18日-4月21日

https://narst.org/conferences/2023-annual-conference

13th Congress of the European Society for Research in Mathematics Education (CERME13)

開催地：Budapest, Hungary

期間：2023年7月10日-7月14日

https://cerme13.renyi.hu

46th Conference of the International Group for the Psychology of Mathematics Education (PME46)

開催地：Haifa, Israel

期間：2023年7月17日-7月21日

https://www.igpme.org/annual-conference/

The 15th Conference of the European Science Education Research Association (ESERA 2023)

開催地：State-of-the-art convention center, Nevşehir, Turkey

期間：2023年8月28日-9月1日

https://www.esera2023.net/

The 21st International Conference on the Teaching of Mathematical Modelling and Applications (ICTMA21)

開催地：兵庫県淡路市

期間：2023年9月10日-9月15日

https://ictma21.jp

2022 年度 日本科学教育学会研究会（若手活性化委員会開催） 概要報告

2022 年 12 月 18 日（日）に，若手活性化委員会担当の研究会を明治学院大学およびオンラインのハイフレックス形式で開催しました．発表は全て口頭発表の形式で行いました．この研究会は,『科学教育研究』の若手会員を対象とした特集「次世代を担う若手研究者の科学教育研究」（通称：若手特集）とタイアップしています.

１．研究会概要

（１）研究発表

研究発表は対面（明治学院大学）とリアルタイムオンライン（zoom 使用）で行いました．本研究会で研究発表を行うことで,『科学教育研究』若手特集に論文を投稿する条件の一部を満たすことができます．さらに，本研究会当日の発表の中から，優秀な研究発表に対しては「ベストプレゼンテーション賞」を授与しています.

（２）企画

「学校現場と研究」をテーマとしたワークショップ「教育と研究のあいだ」を実施しました．このワークショップでは， JSSE での発表や論文採録経験のある若手教員（主に小中高など）を中心に,「研究活動と教育実践の結びつき」を大テーマとして話題提供・クロストークをしていただき，参加者を交えた小グループごとのディスカッションを行いました．学校現場での研究活動を推進・促進するとともに，教職課程に在籍している学生・院生が学校現場へ着任・復帰して以降も研究活動を行いたくなるような意欲を喚起し，同環境におかれた者同士（会員同士）のコミュニティ形成の増進を目的としたもので，詳細の報告は次号以降で行います.

【登壇者】

・島智彦　先生（神奈川学園中学高等学校）
・俣野源晃先生（神戸大学附属小学校）
・下村早紀先生（島根大学教職大学院）
・森田直之先生（東京都立科学技術高等学校）

＜司会・進行＞

・森田大輔先生（若手活性化委員）

２．その他

情報は，若手活性化委員会 Facebook ページやメーリングリストで続々公開しております．どうぞご期待下さい.

Facebook ページやメーリングリストの登録は，随時，受け付けています．ぜひご登録ください．

◯若手活性化委員会 Facebook

https://www.facebook.com/jssewakate/

◯JSSE 若手研究者メーリングリスト登録 URL

https://goo.gl/tClQb4

（西内舞：国立教育政策研究所）

編集委員会だより

2022 年度第 1 回編集理事会報告

令和 4 年 11 月 22 日（火）にオンライン会議システム Zoom を利用した遠隔会議で開催された．まず，通常号の編集状況，特集「次世代を担う若手研究者の科学教育研究」及び特集「科学教育における評価」の進捗状況が報告された．続いて，特集号 48（2）の特集テーマ案について，審議の結果，ウィズコロナ社会に求められる新しい科学教育の挑戦に着目したテーマにすることが決定された．次回編集理事会（3 月）にて趣意書案を審議すること，5 月から原稿募集を開始すること等を確認した．

次の編集理事会は，2022 年 3 月，遠隔会議での開催を予定している．

「科学教育研究」編集状況報告

1．新規投稿論文（2021.10.1～2022.10.31）：11 編

【内訳】

和文 11 編，英文 0 編

2．査読中論文（2022.10.31 現在）：25 編

【内訳】

担当編集委員選出中：10 編
査読者選出中：1 編
査読中（1 回目）：3 編
担当編集委員による第 1 審総合判定中：1 編
改訂稿待ち：5 編
査読中（2 回目）：4 編
担当編集委員による第 2 審総合判定中：1 編
編集委員長による最終判定中：0 編

3．掲載決定論文（2022.10.1～2022.10.31 現在）：0 編

【内訳】

研究論文：0 編
総説・展望：0 編
資料：0 編
プラザ：0 編

【合計】

46-4 号：0 編（通算 20 編）
46-1 号：0 編（通算 0 編）

「科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況

（2022年10月31日　現在）

	新規投稿論文数（編）		審査中（編）		掲載決定論文数（掲載号）		招待論文数（掲載号）		掲載不可論文数（見なし取り下げを含む）	
	和　文	英　文	和　文	英　文	和　文	英　文	和　文	英　文	掲載不可	取り下げ
2019年　11月	5	0	20	0	1（44-1） 0（44-2）	0（44-1） 0（44-2）	0 0		4	0
2019年　12月	6	0	18	0	2（44-1） 0（44-2）	0（44-1） 0（44-2）	0 0		6	0
2020年　1月	8	1	21	1	1（44-1） 1（44-2）	0（44-1） 0（44-2）	0 0		3	0
2020年　2月	6	0	19	1	4（44-2） 0（44-3）	0（44-2） 0（44-3）	0 0		4	0
2020年　3月	11	2	24	2	2（44-2） 0（44-3）	0（44-2） 0（44-3）	1 0		5	0
2020年　4月	30	0	42	2	1（44-2） 0（44-3）	0（44-2） 0（44-3）	1 0		10	1
2020年　5月	7	0	42	2	0（44-2） 0（44-3）	0（44-2） 0（44-3）	0 0		6	1
2020年　6月	2	0	33	0	0（44-3） 0（44-4）	0（44-3） 0（44-4）	0 0		13	0
2020年　7月	8	0	33	0	4（44-3） 2（44-4）	0（44-3） 0（44-4）	0 0		2	0
2020年　8月	9	0	33	0	4（44-4） 0（45-1）	0（44-4） 0（45-1）	0 0		4	1
2020年　9月	9	0	30	0	8（44-4） 0（45-1）	0（44-4） 0（45-1）	0 0		4	0
2020年　10月	15	0	38	0	2（44-4） 1（45-1）	0（44-4） 0（45-1）	0 0		3	1
2020年　11月	5	0	34	0	4（45-1） 0（45-2）	0（45-1） 0（45-2）	0 0		5	0
2020年　12月	6	0	28	0	2（45-1） 0（45-2）	0（45-1） 0（45-2）	0 0		10	0
2021年　1月	8	0	27	0	1（45-1） 3（45-2）	0（45-1） 0（45-2）	0 0		5	0
2021年　2月	4	0	26	0	0（45-1） 3（45-2）	0（45-1） 0（45-2）	0 0		2	0
2021年　3月	11	0	23	0	7（45-2） 0（45-3）	0（45-2） 0（45-3）	0 0		7	0
2021年　4月	14	0	28	0	1（45-2） 2（45-3）	0（45-2） 0（45-3）	0 0		6	0
2021年　5月	6	0	25	0	0（45-2） 3（45-3）	0（45-2） 0（45-3）	2 0		6	0
2021年　6月	4	0	23	0	2（45-3） 0（45-4）	0（45-3） 0（45-4）	0 0		4	0
2021年　7月	8	0	27	0	2（45-3） 1（45-4）	0（45-3） 0（45-4）	0 0		1	0
2021年　8月	3	0	25	0	0（45-3） 0（45-4）	0（45-3） 0（45-4）	0 0		4	1
2021年　9月	3	0	22	0	0（45-3） 3（45-4）	0（45-3） 0（45-4）	0 0		3	0
2021年　10月	6	0	18	0	1（45-4） 2（46-1）	0（45-4） 0（46-1）	0 0		6	1
2021年　11月	13	0	29	0	0（45-4） 0（46-1）	0（45-4） 0（46-1）	0 0		2	0
2021年　12月	6	0	30	0	2（46-1） 0（46-2）	0（46-1） 0（46-2）	0 0		3	0
2022年　1月	6	0	24	0	1（46-1） 2（46-2）	0（46-1） 0（46-2）	0 0		9	0
2022年　2月	5	0	24	0	2（46-2） 0（46-3）	0（46-2） 0（46-3）	0 0		3	0
2022年　3月	17	0	29	0	5（46-2） 1（46-3）	0（46-2） 0（46-3）	0 0		5	1
2022年　4月	15	0	38	0	0（46-2） 0（46-3）	0（46-2） 0（46-3）	0 0		5	1
2022年　5月	7	0	40	0	0（46-2） 1（46-3）	0（46-2） 0（46-3）	0 0		4	0
2022年　6月	8	0	44	0	1（46-3） 0（46-4）	0（46-3） 0（46-4）	0 0		3	0
2022年　7月	4	0	31	0	1（46-3） 7（46-4）	0（46-3） 0（46-4）	0 0		9	0
2022年　8月	11	0	28	0	0（46-3） 4（46-4）	0（46-3） 0（46-4）	0 0		8	1
2022年　9月	4	0	21	0	0（46-3） 9（46-4）	0（46-3） 0（46-4）	0 0		2	0
2022年　10月	11	0	25	0	0（46-4） 0（47-1）	0（46-4） 0（47-1）	0 0		6	1

広報委員会からのお知らせ

科学教育研究レター第 260 号をお届けします．一般社団法人日本科学教育学会の広報活動についてお気づきの点などがございましたら，学会 Web サイトにある「お問い合わせ」をご利用のうえ，お知らせください．

担当理事： 森田裕介（早稲田大）　大貫麻美（白百合女子大）

委　　員： 加納　圭（滋賀大）　三宅志穂（神戸女学院大）　雲財　寛（日本体育大）
稲田結美（日本体育大）　黒田友貴（静岡大）　江草遼平（千葉商科大）
西内　舞（国立教育政策研究所）

幹　　事： 谷塚光典（信州大）　榎本哲士（北海道教育大）　後藤みな（山形大）

科学教育研究レター編集　日本科学教育学会広報委員会

一般社団法人日本科学教育学会　Japan Society for Science Education

ＵＲＬ： *http://www.jsse.jp*
□ 事務局　中西印刷（株） 学会部　内　ＴＥＬ：075-415-3661　ＦＡＸ：075-415-3662
E-mail : *jsse [at mark] nacos.com*
〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入ル
□編集事務局（論文投稿・査読編集）　ＴＥＬ：075-415-3155　ＦＡＸ：075-417-2050
E-mail : *jsse-hen [at mark] nacos.com*
中西印刷（株） 学会部　内　〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入ル
郵便振替口座：00170-6-85183　日本科学教育学会
銀 行 口 座：みずほ銀行 京都中央支店　普通 2269008　日本科学教育学会